

岡岐圏域(島前)水害・土砂災害に関する減災対策協議会（各機関における取組内容の詳細及び取組状況）

【資料2-2】

	主な取組項目	対象	目標時期	取組機関					備考	
				海士町	西ノ島町	知夫村	松江地方気象台	島根県		
■ 水害・土砂災害リスク情報等を地域と共有し、命を守るための確実な避難の実現										
1	土砂災害特別警戒区域の調査・周知及び指定	圏域	調査・周知 令和2年9月末まで 指定 令和2年度末まで	目標 取組内容					・土砂災害特別警戒区域を調査・周知及び指定し、調査結果を各町村へ提供。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、説明会の開催ができていない。(知夫村)
				R1 取組内容	・調査結果の縦覧 ・ケーブルテレビの放映	・調査結果の縦覧 ・ケーブルテレビの放映	・調査結果の縦覧	・調査完了、各町村へ調査結果を通知・意見照会		
				R2 取組内容	・調査結果の縦覧 ・ケーブルテレビの放映 ・知事の意見照会に対する回答	・調査結果の縦覧 ・ケーブルテレビの放映 ・知事の意見照会に対する回答	・調査結果の縦覧 ・地元説明会を行う ・知事の意見照会に対する回答	・地元説明会を行う。 ・年度末までに区域指定する。		
2	土砂災害ハザードマップの改良・周知	圏域	令和3年度末まで	目標 取組内容	・土砂災害(特別)警戒区域の公表の後に、土砂災害ハザードマップの見直し。 ・ハザードマップポータルサイトへ登録し、住民等へ広く周知。 ・印刷物の各戸配布。	・土砂災害(特別)警戒区域の公表の後に、土砂災害ハザードマップの見直し。 ・ハザードマップポータルサイトへ登録し、住民等へ広く周知。 ・印刷物の各戸配布。	・土砂災害(特別)警戒区域の公表の後に、土砂災害ハザードマップの見直し。 ・ハザードマップポータルサイトへ登録し、住民等へ広く周知。 ・印刷物の各戸配布。			
				R1 取組内容	・土砂災害特別警戒区域基礎調査結果について住民へ周知	—	—			
				R2 取組内容	・土砂災害特別警戒区域が指定されたことにもない、避難経路や避難所の再確認	・ハザードマップの更新	・土砂災害特別警戒区域指定の後に、土砂災害ハザードマップを見直す			
3	避難勧告等の発令に準じた土砂災害情報伝達体制の確立(土砂災害対応タイムラインの作成)	圏域	タイムライン作成 令和3年6月出水期まで	目標 取組内容	・土砂災害対応チェックリスト等を基に土砂災害対応タイムラインを作成 ・実事象、情報伝達訓練を踏まえ適宜見直し	・土砂災害対応チェックリスト等を基に土砂災害対応タイムラインを作成 ・実事象、情報伝達訓練を踏まえ適宜見直し	・土砂災害対応チェックリスト等を基に土砂災害対応タイムラインを作成 ・実事象、情報伝達訓練を踏まえ適宜見直し	・土砂災害対応タイムラインの確認・調整。土砂災害対応タイムラインにおいて防災気象情報を有効に活用する観点から助言	・土砂災害対応チェックリスト等を基に土砂災害対応タイムラインを作成 ・実事象、情報伝達訓練を踏まえ適宜見直し	
			定着 継続実施	R1 取組内容	土砂災害対応タイムラインを策定したい旨を関係機関で情報共有					
				R2 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回書面担当者会議、書面協議会(6月)において素案を示し、協議会の了承を得る ・実事象において試運用する ・第2回担当者会議(出水期後、11月)において見直しを図り、12月末までに案を作成する(R3取組: R3の協議会にはかり、了承を得る) 					
4	深水量、土砂災害の危険度について島根県、気象台からの情報提供(ホットラインの定着)	圏域	令和元年度から継続実施	目標 取組内容	・出水期前の情報伝達演習等を通じるなどにより連絡体制の定着を図る					
			R1 取組内容	なし	なし	なし	・土砂災害に係る情報伝達訓練 R1. 6. 6実施	・土砂災害に係る情報伝達訓練 R1. 6. 6実施	・R2年度も実施済み	
				R2 取組内容	・情報伝達訓練、実事象でホットラインを実施、検証					

	主な取組項目	対象	目標時期		取組機関					備考
					海士町	西ノ島町	知夫村	松江地方気象台	島根県	
5	避難判断を的確に行うための水防・土砂災害危険度情報等提供の充実	圏域	改善された防災気象情報の提供 平成29年度から継続実施 次期水防情報システム 令和元年度から運用 次期土砂災害予警報システム 令和2年度から運用	目標 取組内容				<ul style="list-style-type: none"> 防災気象情報の改善 <ul style="list-style-type: none"> ○危険度を色分けした時系列 ○警報級の可能性の提供 ○危険度分布(メッシュ情報)の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 次期水防情報システムの開発(河川) <ul style="list-style-type: none"> ○操作法を改善し迅速な情報提供 ○観測データの異常値チェック機能 ○スマートフォンに対応した情報提供 ○訓練シナリオの充実 雨量計、水位計等の更新(河川) 次期土砂災害予警報システムの開発(砂防) <ul style="list-style-type: none"> ○障害に強いシステムの構築 ○高精度化(5mm/分間→1mm/分間) ○迅速化(判定間隔30分→10分) ○複数情報表示、多言語対応、スマートフォン対応 雨量局の更新(砂防) 	
				R1 取組内容				<ul style="list-style-type: none"> 令和元年6月12日より、台風予報に係る予報円、暴風警戒域の絞り込みとともに台風予報の信頼度をより的確に表現する形での発表を開始 令和元年6月28日より、大雨警報(土砂災害)の危険度分布の高解像度化の開始 令和元年12月24日より、危険度分布とリスク情報(浸水想定区域、土砂災害警戒区域)を重ね合わせて表示できるよう改善 令和2年3月18日より、天気分布予報及び時系列予報の高解像度化・予報期間の延長等改善を行い、リニューアルした気象がホームページによる発表を開始 	<ul style="list-style-type: none"> 次期水防情報システム運用 次期土砂災害予警報システム開発実施 	
				R2 取組内容				<ul style="list-style-type: none"> 大雨警報・注意報(浸水警)洪水警報・注意報等の基準についての評価及び検証を行い、必要に応じて基準の見直しを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 雨量計、水位計の更新(水防情報システム) 次期土砂災害予警報システム運用開始 雨量局の更新に着手(土砂災害予警報システム) 	
6	出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及	圏域	毎年継続実施	目標 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 防災出前講座により避難行動や情報収集手段の周知、啓発 広報紙への防災特集記事掲載による防災情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 防災出前講座により避難行動や情報収集手段の周知、啓発 広報紙への防災特集記事掲載による防災情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 防災出前講座により避難行動や情報収集手段の周知、啓発 広報紙への防災特集記事掲載による防災情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 出前講座等により防災気象情報の入手、活用方法等について周知。また、協議会として防災教育を実施する際には講師派遣、資料提供に対応。 	<ul style="list-style-type: none"> 出前講座により水防情報の入手、活用方法等について周知 広報紙を活用した防災情報発信 	
				R1 取組内容	—	<ul style="list-style-type: none"> 西ノ島町による土砂災害特別警戒区域に関する情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> 県からの土砂災害啓発チラシを全戸配布した 	<ul style="list-style-type: none"> 県主催の水防・土砂災害研修会に講師を派遣し、防災気象情報について解説を行った。【R1.6.7】 	<ul style="list-style-type: none"> 水防・土砂災害研修会【R1.6.7】 新聞広報(考える県政)【R1.6.22】 不動産部連東界団体への水害リスクに関する情報の解説【R1.12.9】 土砂災害防止法説明(西ノ島町、海士町ケーブルテレビ) 	
				R2 取組内容		<ul style="list-style-type: none"> 防災出前講座開催、広報紙掲載 	<ul style="list-style-type: none"> 出前講座等 	<ul style="list-style-type: none"> 新聞広報、出前講座等 美田ダムの機能説明(西ノ島町ケーブルテレビ) 		
■ 要配慮者利用施設における確実な避難										
7	要配慮者利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成支援(土砂災害)	圏域	令和元年度から継続実施	目標 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度施設管理者宛計画作成・提出依頼 随時面談・電話による作成相談を実施 提出された避難確保計画について点検し、修正の助言を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度施設管理者宛計画作成・提出依頼 随時面談・電話による作成相談を実施 提出された避難確保計画について点検し、修正の助言を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度施設管理者宛計画作成・提出依頼 随時面談・電話による作成相談を実施 提出された避難確保計画について点検し、修正の助言を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度施設管理者向け説明会の開催 避難確保計画において防災気象情報を有効に活用する観点から助言 	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度施設管理者向け説明会の開催 モデル施設で作成する避難確保計画を協議会の場で共有 例)モデル施設で避難確保計画の作成 	
				R1 取組内容	—	—	—	—		
				R2 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 要配慮者利用施設の確認と避難確保計画の作成支援 	<ul style="list-style-type: none"> 作成支援 	<ul style="list-style-type: none"> 作成支援 	<ul style="list-style-type: none"> 依頼に基づき助言を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて計画作成の支援 	

	主な取組項目	対象	目標時期		取組機関					備考
					海士町	西ノ島町	知夫村	松江地方気象台	島根県	
■ 被災すると社会経済に大きな影響を与える施設や基盤の保全を図る										
8	堆積土砂の撤去等による河川氾濫・浸水害を未然に防ぐ対策	圏域	毎年継続実施	目標 取組内容	・通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について県と調整し優先箇所を定めて順次実施	・通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について県と調整し優先箇所を定めて順次実施	・通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について県と調整し優先箇所を定めて順次実施		・通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について関係町村と調整し優先箇所を定めて順次実施	
				R1 取組内容	-	-	-		・美田川立木伐採・堆積土砂撤去(西ノ島町) ・藤助川堆積土砂撤去(海士町)	
				R2 取組内容	県と調整し、施工が必要な河川等があれば対策を行う	-	-		・大川堆積土砂撤去(海士町)	
9	土砂・立木対策の推進	圏域	毎年継続実施	目標 取組内容					・土砂や流木の流出による被害の危険性が高い浸流において土砂・流木の捕捉効果の高い施設整備を推進	
				R1 取組内容					・西尾の代川で土砂・流木対策の継続実施(西ノ島町) ・短当川で用地買収(西ノ島町)	
				R2 取組内容					・西尾の代川で土砂・流木対策の整備環境(西ノ島町) ・短当川で土砂・流木対策の本場工に着手(西ノ島町) ・中別府川で用地買収(西ノ島町) ・藤山川で用地買収(海士町) ・河井川で用地買収(知夫村)	